

在宅療養にお困りの方・訪問診療を考えている方のお手伝いをします

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



従兄弟 A

従兄弟の B ががんのため病院へ通院していましたが、このところ具合が悪いようです。しかし、1カ月以上治療を中断し、受診を促しても拒否しています。最近では食事がとれなくなるなど、身の回りのことができなくなってきていて、心配です。

<支援内容>

Bさんの自宅へ訪問し、「最後は自宅で好きなことをして過ごしたい」という本人の意思を確認後、以下のことを説明しました。

- ① 通院をしなくても訪問診療や訪問看護を利用することで、最期まで自宅で過ごすことができること。
- ② 介護サービスを利用するために、要介護（要支援）認定の申請が必要であること。

自宅訪問後に、従兄弟と一緒に地域包括支援センターに行き、介護保険の申請を行いました。

また、地域包括支援センターや病院（MSW）へ連絡し、早期介入と情報共有等を依頼し、連携を図りました。

<対応結果>

迅速に地域包括支援センターや病院（MSW）と連携できたことで、スムーズに訪問診療や介護サービス（介護ベッド、訪問介護）を導入することが出来ました。



<相談者の様子>

最初は、何をどうしたらいいか全くわからない状態でご不安が強かったようです。様々なことを短時間で行う必要がありましたが、最後は「わかりやすく丁寧に説明して頂き、本当に助かりました」と安心したご様子でした。

ケースを振り返って

Bさんがどのように過ごしたいかを把握し、そのために何が必要なのかを Bさんや従兄弟 Aさんへわかりやすく説明することを心掛けました。また、病院への連絡など代わりにできることは行い、介護保険の申請に同行し、相談者の負担を少なくするようにしました。また、代行や同行することで、**関係機関との連携や情報共有がスムーズに行え、迅速に訪問診療や介護サービスの導入へと繋がりました。**

相談者は何をどうしたらいいのかわからない状態であることがよくあります。相談者に寄り添い、短時間で問題点を把握しながら、臨機応変に対応することが大切であると改めて感じました。

在宅療養支援窓口では、在宅療養における医療面を中心とした様々なご相談に応じます。

ケアマネジャーや医療関係者・医療機関のサポートも行っております。是非窓口へご相談ください！